

<No7：基準点測量>

図7に示すとおり、新点Aの標高を求めるため、既知点Bから新点Aに対して高低角 $\alpha$ 及び斜距離Dの観測を行い、表7の結果を得た。新点Aの標高は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、既知点Bの器械高 $i_B$ は1.40 m、新点Aの目標高 $f_A$ は1.60 m、既知点Bの標高は350.00 m、両差は0.10 mとする。また、斜距離Dは気象補正、器械定数補正及び反射鏡定数補正が行われているものとする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

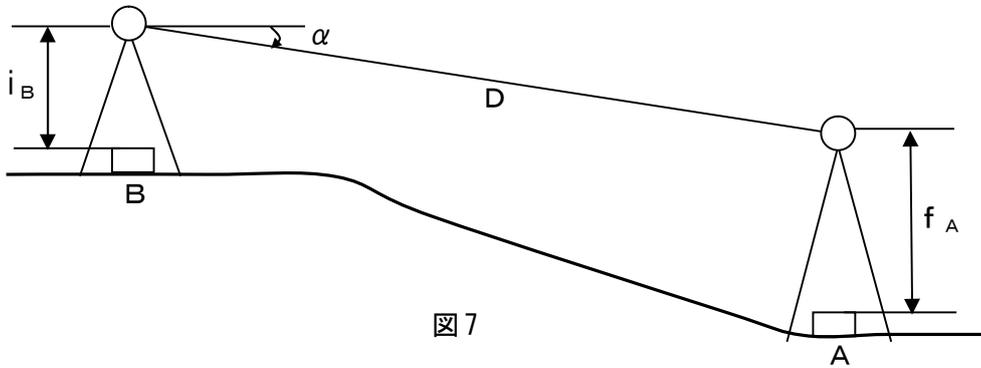


図7

表7

$\alpha$	$-3^{\circ} 00' 00''$
D	950.00 m

1. 297.38 m
2. 300.08 m
3. 300.18 m
4. 300.38 m
5. 303.38 m